

横川っ子だより



新しい学習指導要領とは

2020年は、小学校で新しい学習指導要領が全面実施となります。変化の激しいこれからの社会で活躍できる人材育成を目指して、戦後最大規模の教育改革が始まろうとしています。新しい学習指導要領は、子どもたちの生きる力を育むために、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」という3つの柱を重視しています。

このことから、評価の観点も「個別の知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つになります。

新しい学習指導要領については、以下のとおりです。

<社会が大きく変わる！>

- ① 今まで人がしていた仕事をAI・ロボットがするようになる。
- ② 子どもたちの多くは、今、存在していない職業に就くとされている。
- ③ 多様な文化や言語をもった人たちと一緒に働くようになる。

<学校教育がどう変わる？>

- ① 知識や技能を習得するだけでなく、それをもとに、「自分で考え、表現し、判断し、実際の社会で役立つ」ことが求められる。
- ② 教員による一方通行の授業から、子ども自身が主体的・能動的に参加する授業・学習へ

<新設された教科等はこちら！>

- ① 3・4年生での外国語活動（年間35時間）、5・6年生での外国語教科化（年間70時間）
- ② 道徳の教科化
- ③ 教科等の中でプログラミング教育（プログラミング的思考＝論理的な思考）を導入

<新しい教育のための「コミュニティ・スクール」の実現>

- ① 学校と地域のかかわりを捉え、地域とのつながりを考えた教育課程を編成し、共有・連携
- ② 学校・家庭・地域の連携で未来を担う子どもを育成

あたら きょういく む
新しい教育に向けて

このように、新しい学習指導要領は、知識を学ぶだけでなく、それをどのように活用するかを考え、「何のために勉強をするのか」という意識をもち、アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）の方法で授業は行われ、生涯、能動的（アクティブ）に学び（ラーニング）続けることを目指します。

<新設された教科等はこれ！>

- ④ 3・4年生での外国語活動（年間35時間）、5・6年生での外国語教科化（年間70時間）
- ⑤ 道徳の教科化
- ⑥ 教科等の中でプログラミング教育（プログラミング的思考＝論理的な思考）を導入



新設された教科等を受けて、次年度から3年生以上で外国語（3,4年生は外国語活動）の授業が週に1時間増えます。その対応として、国語科の学習（言語事項習得）に関する学習の時間を朝の学習タイムで15分×3日（＝45分）行うことで、1コマ時間を生み出します。これによって、国語科の1週間あたりの時間数を1時間振り替え、その振り替えた1時間を外国語（3,4年生は外国語活動）にあてます。これによって、今年度と同じ日課表で行うことができます。1,2年生は、今年度と同じで、朝は読書タイムのある日課表になります。

じねんど かくがくねん につか
次年度の各学年の日課

- 1 年・・・月～金曜日はすべて5時間授業
- 2 年・・・水曜日のみ6時間授業、他の曜日は5時間授業
- 3 年・・・火・水曜日は6時間授業 他の曜日は5時間授業
- 4 年・・・火・水・木曜日は6時間授業 他の曜日は5時間授業
- ただし、金曜日にクラブがある場合は、6時間授業
- 5、6年・・・火・水・木曜日は6時間授業 他の曜日は5時間授業
- ただし、金曜日に、クラブ、委員会がある場合は6時間授業

※クラブ、委員会のある日は、次年度配付される「学年だより」でご確認ください。